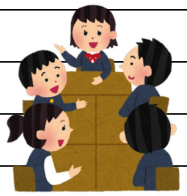
吉田南中だより

令和５年９月２９日
鹿児島市立吉田南中学校

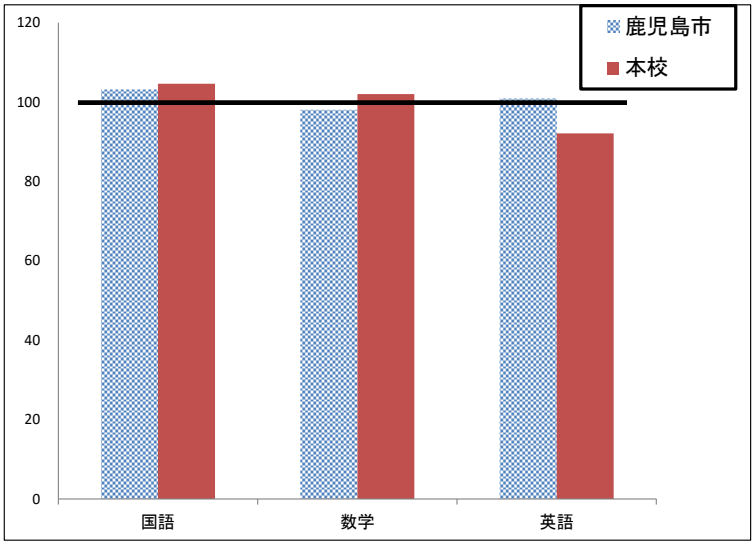
吉田南中学校ＨＰ

１０月の主な行事

１０月					
日	曜	行　事　内　容	日	曜	行　事　内　容
2	月	中間テスト　生徒会新体制スタート	18	水	研究公開準備　部活停止
3	火	生徒朝会	19	木	研究公開　部活停止
6	金	学年朝会	23	月	第２回教育相談（～25日）
9	月	スポーツの日	24	火	研究公開リフレクション　１年集金日
11	水	全校朝会	25	水	２年集金日
14	土	土曜授業	26	木	生徒会専門委員会　３年集金日
16	月	職員会議	31	火	生徒朝会　３年第２回共通実力テスト
17	火	学級専門部会			



「全国学力・学習状況調査」の結果について



毎年，小学校６年生と中学校３年生を対象に行われる「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。全国の平均正答率を１００（一線）として，市・本校の結果の平均正答率を示したものが右のグラフです。

＜国語＞

書くことや我が国の言語文化に関する事項のうち，「知識・技能」における「言葉の使い方」や「古典の原文と現代語の対応」に課題が残りました。言葉の意味や使い方を確かめながら書いたり，古典読解の方法を工夫したりする等，授業の中で取り組んで参ります。

＜数学＞

関数についての課題が見られました。グラフから事象を読み取る力や，事象を数学的に解釈し説明する力に特に課題が見られました。根拠を明確にし，式・表・グラフを用いて他者に説明する時間を確保し，数学的に表現する力を付けられるよう指導の工夫を行っていきます。

＜英語＞

聞くことについては，県平均を上回るものの，書くこと及び思考力・判断力・表現力を必要とする問題に課題が残りました。既習事項を使用し，自分の意見や考えを記述することについて重点的に取り組んで参ります。

〈全体的に〉

生徒質問紙の結果より本校の生徒は将来の夢や目標を持っており，学校に楽しく通うことができています。また，ＩＣＴ機器の活用・新聞を読むこと・読書活動や話し合い活動に対しても積極性が見られました。一方，自己肯定感が低く，他者の異なる意見を認めたり，困りごとを相談したりすることについては課題が見られました。学校では，授業のみならず，学校行事や学級活動・道徳など様々な場面で自己肯定感と自己有用感を高める手立てをとっていきたいと思いますので，御家庭でも見届けと声かけをよろしくお願いします。

感動の一日を共に ＜第77回体育大会＞

９月10日（日）今年度は４年ぶりの一日開催となる体育大会でした。

当日の午後は雷雨の予報。朝からこの日のプログラムをどうするかで悩まされましたが，悩んだ上での短縮プログラムを組みました。出番が減ってしまった選手や役員には申し訳ないことをしましたが，最後まで無事に終われたこと，まずは良かったと思います。

夏休みからずっと練習してきた応援団の演舞や伝統のＮｅｗチェスト。恒例の縄跳びに重量挙げ。時間短縮の流れの中で，全学年一斉に走った学級対抗リレー。初の学年種目である玉入れに，全体競技の綱引き。そのどれもが，体育大会で自分の力を発揮させたいという，喜びに満ちた内容でした。生徒たちは皆，実に立派でした。

第７８代生徒会 ＜生徒会立会演説会＞

９月１５日，新生徒会長・副会長選出のための立会演説会が行われました。開票の結果，生徒会長は２年生　寺園紫琉さん，副会長は２年生　林英豪さんと１年生　宮薗宗士さんに決まりました。また，書記に２年生　新村心愛さん，会計に１年生　有村礼奈さんが任命されました。今後は，この執行部を中心に，各専門部長など，第７８代生徒会が動いていきます。第７７代生徒会の皆さん，本当にご苦労様でした。本校の生徒会の歴史と伝統は確実に引き継がれていきます。

自分の機嫌は自分でとる

本当は，いつも機嫌よく過ごしたいのですが，そういうわけにいかないことがあります。みなさんはいかがですか。

時々，私は自分の機嫌や気分をうまくコントロールできないことがあります。調子や機嫌がわるくなったきっかけさえも分からないときもあります。

それでも，いつもと違ってよくない状態だというのは，自分でも分かるようになりました。朝，起きて調子がよくないときは時間をかけて修正していきます。自分の状態を客観視できれば修正も可能です。そのような状態のときには難しい判断には時間をおくように心掛けています。また，軽く体を動かしたり，お気に入りの本を読んだりしながら気分転換を図ります。

「自分の機嫌くらい，自分でとらないといけない」は，スキージャンパーの高梨沙羅さんが述べた言葉です。心と体は連動することがあることをよく知っている方の言葉だと思います。

調子がいいときもそうでないときも，一歩引いて自分のこころの状態を見る。生活習慣を大切にしながらも，気分や体調のすぐれないときは，自分の機嫌を自分でとりながら，可能な限りよいパフォーマンスを出していければいいと考えます。

校長　塚元　宏雄